





大学コンソーシアム富山 平成28年度「環境政策論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成28年度単位互換開講科目「環境政策論」
実施機関名	富山国際大学
趣旨・目的	<p>企業、生活者等、あらゆる活動において環境保全に配慮した行動が求められている。昨年のパリ協定を受けての気候変動対策をはじめとして、生物多様性や持続可能性など、様々な視点からの環境政策が今後ますます重要となってくる。本講座においては、本年5月に開催されたG7富山環境大臣会合と、関連する北東アジアの環境に関する県民フォーラムを踏まえ、その成果や富山県としての取り組みを紹介し、県民や事業者に必要な環境法令や自主的な行動について理解を深めていく。</p>
開催日時	平成28年8月10日（水）～8月12日（金）
開催場所	富山国際学園サテライトオフィス（富山市新桜町7番38号 CiCビル3階）
参加人数	<p>学生 29名 【内訳】・富山大学（13名）・富山県立大学（1名） ・富山高等専門学校（2名）・富山国際大学（13名） 一般受講者 9名 計 38名</p>
事業内容	<p><u>8月10日（水）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 オリエンテーション はじめに（上坂博亨 教授） 富山県の環境政策の概要とG7富山環境大臣会合の成果等について （富山県生活環境文化部 理事・次長 長坂雄一氏） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 富山県の公害の歴史 （富山県立イタイイタイ病資料館 副主幹 田中恒久氏） <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回 生物多様性の保全と持続可能な利用 （富山県自然保護課野生生物係 副主幹・係長 平野雅治氏） <div style="text-align: center;">  </div>

・ 第4回 立山の自然環境と災害

(富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田肇氏)



・ 第5回 環境法令と生活環境の保全

(富山県生活環境文化部環境保全課 課長補佐・指導係長 森友子氏)



8月11日(木)

・ 第6回 地球温暖化対策の現状について

(富山県生活環境文化部環境政策課(地球環境係)課長補佐・地球環境係長 吉森信和氏)



・ 第7回 エコライフスタイルの推進について

(富山県生活環境文化部環境政策課(企画係)課長補佐・企画係長 鷲本洋一氏)



・ 第8回 富山県における温暖化の現状と将来予測

(富山県環境科学センター 主任研究員 初鹿宏壮氏)



・ 第9回 国際協力と海洋環境保全

(公益財団法人環日本海環境協力センター事務局長 川崎清人氏)



・ 第10回 廃棄物の3Rの推進について

(富山県生活環境文化部環境政策課(廃棄物処理班)主査 八田哲典氏)



8月12日(金)

・ 第11回 富山湾における豊かな海づくり

(富山県農林水産部水産漁港課 課長補佐・振興係長 辻本良氏)



・ 第12回 水と緑の森づくりと県民との協働

(富山県農林水産部森林政策課 副主幹 滝口明信氏)



・ 第13回・14回 再生可能エネルギーの推進(施設見学含む)

イタイイタイ病資料館、常西公園小水力発電所、仁右エ門用水小水力発電所
(コーディネーター上坂博亨 教授)



・ 第15回 まとめ(レポート作成) (上坂博亨 教授)

授 業 科 目		教育課程区分・対象学期・単位数・履修年次			職 名	担 当 教 員					
環境政策論 英文名：Environmental policy theory		社会環境系			教授	上坂博亨・富山県					
		対象学期	単位数	履修年次							
		前期	2 単位	2 年							
授 業 の 内 容	< 授業の概要 > 富山県の環境政策についてまなぶ。特に平成28年5月に開催されたG7富山環境大臣会合（平成28年5月）を踏まえその成果や富山県の取組みを紹介する。持続可能な社会を形成するための取組みについて考えたい。 キーワード： ① 環境政策 ② 負荷 ③ 社会経済 ④ 持続可能 ⑤										
	< 到達目標 > 1. あらゆる活動（企業、生活者等）において環境保全に配慮した行動が求められていることを考慮し、県民や事業者に必要な環境法令や自主的な行動について理解を深める。 2. 富山県の特徴的な環境施策について理解を深め、県の環境政策や取組みを説明できるようになる。										
	該当するディプロマポリシー		3. スペシャリストとしての能力（専門性の向上）								
	該当するカリキュラムポリシー		⑧環境デザインに関する専門性の向上								
	キー・コンピテンシー（重視する能力）					教授方法（授業方法）					
	コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ学習	地域フィールドワーク	授業外学習指導・自主活動
	◎	○	◎			◎	○				
	< 授業計画 >										
	第1回 オリエンテーション（上坂博亨、環境政策課） はじめに/G7富山環境大臣会合について										
	第2回 富山県の公害の歴史（イタイイタイ病資料館）										
	第3回 環境法規制と生活環境の保全（環境保全課）										
	第4回 富山県の自然環境の保全（自然保護課）										
	第5回 富山の自然環境と災害（カルデラ博物館）										
	第6回 水と緑の森づくりと県民との協働（森林政策課）										
	第7回 豊かな海づくり [水産漁港課（水産研究所）]										
	第8回 地球温暖化対策と県民との協働[環境政策課（地球環境係）]										
第9回 県民・事業者のエコライフスタイルの推進[環境政策課（企画係）] 環境政策課（企画係）											
第10回 とやまの環境に関する研究（温暖化等）（環境科学センター）											
第11回 国際協力と海洋環境保全（NPEC）											
第12回 廃棄物の法と管理[環境政策課（廃対班）] 環境政策課（廃対班）											
第13回 再生可能エネルギーの推進①（施設見学含む）（上坂 博亨他）											
第14回 再生可能エネルギーの推進②（施設見学含む）（上坂 博亨他）											
第15回 まとめ（上坂 博亨）											
第16回											
評価方法	レポート（50%）、授業への積極的取組姿勢（50%）										
使用資料	テキスト： 必要に応じて資料を配布					参考図書： 講義にて提示					
授業外学修等	今回は8月10日から12日までの集中とする。会場は富山国際学園サテライト・オフィス（CIC 3F学習室）。授業時間に課題を提示し、次回に提出する。										
授業外質問方法	電子メールによる質問を随時受け付ける。または、授業の終了時に受け付ける。									曜日 時限	

大学コンソーシアム富山 平成 28 年度単位互換開講科目
「押し寄せる『世界』～TPP でどうなる、どうする」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 28 年度単位互換開講科目 「押し寄せる『世界』～TPP でどうなる、どうする」
実施機関名	高岡法科大学
趣旨・目的	<p>日本は、本年（2016）年 2 月 TPP（環太平洋パートナーシップ協定）に署名した。TPP は、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引、国有企業の規律、環境などの幅広い分野での 21 世紀型のルールを構築するものとされている。また、TPP が発効すると、ヒト・モノ・資本の自由化が進み、我が国を含めて国内の制度を変更する必要に迫られる。さらには、我々の日常生活にも大きな影響を及ぼすと考えられるために、TPP のメリットやデメリットなどについての論議が盛んに行われている。それゆえに、TPP に関する様々な知識を得、考察することは我々にとって重要なことである。このような観点から、今年度は統一テーマを「押し寄せる『世界』— TPP でどうなる、どうする」とし、経済法、商法、著作権法などの分野の講義を実施する。</p>
開催日時	平成 28 年 8 月 29 日（月）～9 月 2 日（金）
開催場所	高岡法科大学 大講義室 1 高岡市戸出石代 307-3
参加人数	<p>学生 計 13 名 〔内 訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学（1 名） ・富山県立大学（2 名） ・富山高等専門学校（2 名） ・高岡法科大学（8 名） <p>その他・一般受講者 計 40 名</p>

事業内容	8/29(月) ・ WTO／TPP を巡る国際関係の進展とわが国の進路 (東京大学名誉教授・弁護士 松下 満雄氏) 第1回 多角的貿易秩序としての WTO 第2回 新しい貿易秩序としての TPP とその役割、 問題点 第3回 我が国をとりまく重要な国際的経済連携の 動き	
	8/30(火) ・ TPP の光と影 (大阪市立大学名誉教授・弁護士 藤田 勝利氏) 第4回 TPP の全体像とその本質 第5回 TPP と農業および医療・保険 第6回 TPP とリーガルサービス	
	8/31(水) ・ TPP からはじめる経済学入門 (高岡法科大学法学部准教授 金岡 克文氏) 第7回 TPP と経済学 第8回 グローバル化する「市場」と経済学 第9回 新たな経済と TPP	
	9/1(木) ・ 越境データと個人情報保護法 (新潟大学法学部教授 鈴木 正朝氏) 第10回 越境データとビックデータビジネス 第11回 EU と米国の動向 第12回 改正個人情報保護法 ―日本の対応―	
	9/2(金) ・ TPP と著作権 (骨董通り法律事務所 弁護士 岡本 健太郎氏) 第13回 著作権法の概要 第14回 TPP (著作権条項) と著作権法改正案の 概要 第15回 TPP 及び著作権法改正案後の課題	

大学コンソーシアム富山単位互換科目「押し寄せる『世界』—TPPでどうなる、どうする—」(富山県寄附講義)
前期集中 2単位 講義 2年次 教授 高倉 史人

授業の目的と概要

日本は、本年(2016)年2月TPP(環太平洋パートナーシップ協定)に署名した。TPPは、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引、国有企業の規律、環境などの幅広い分野での21世紀型のルールを構築するものとされている。また、TPPが発効すると、ヒト・モノ・資本の自由化が進み、我が国を含めて国内の制度を変更する必要に迫られる。さらには、我々の日常生活にも大きな影響を及ぼすと考えられるために、TPPのメリットやデメリットなどについての論議が盛んに行われている。それゆえに、TPPに関する様々な知識を得、考察することは我々にとって重要なことである。このような観点から、今年度は統一テーマを「押し寄せる『世界』—TPPでどうなる、どうする—」とし、経済法、商法、著作権法などの分野の著名な講師による講義を実施する。

なお、本講義は大学コンソーシアム富山の事業として他大学学生及び県民にも広く聴講を呼びかけることで、地域貢献の一環としての役割も併せもつ。

授業の到達目標

本講義によって、私たちが日常生活を送る上で大きな影響を及ぼすと考えられるTPPに関する様々な法律問題等の重要な事柄を理解できるようにすることを目標とします。

授業計画

【押し寄せる『世界』—TPPでどうなる、どうする—】

- ・ WTO/TPPを巡る国際関係の進展とわが国の進路(東京大学名誉教授・弁護士 松下 満雄氏)
 - 第1回 多角的貿易秩序としてのWTO (8月29日(月)2限)
 - 第2回 新しい貿易秩序としてのTPPとその役割、問題点 (8月29日(月)3限)
 - 第3回 我が国をとりまく重要な国際的経済連携の動き (8月29日(月)4限)
- ・ TPPの光と影(大阪市立大学名誉教授・弁護士 藤田 勝利氏)
 - 第4回 TPPの全体像とその本質 (8月30日(火)2限)
 - 第5回 TPPと農業および医療・保険 (8月30日(火)3限)
 - 第6回 TPPとリーガルサービス (8月30日(火)4限)
- ・ TPPからはじめる経済学入門(高岡法科大学法学部准教授 金岡 克文氏)
 - 第7回 TPPと経済学 (8月31日(水)2限)
 - 第8回 グローバル化する「市場」と経済学 (8月31日(水)3限)
 - 第9回 新たな経済とTPP (8月31日(水)4限)
- ・ 越境データと個人情報保護法(新潟大学法学部教授 鈴木 正朝氏)
 - 第10回 越境データとビックデータビジネス (9月1日(木)2限)
 - 第11回 EUと米国の動向 (9月1日(木)3限)
 - 第12回 改正個人情報保護法—日本の対応— (9月1日(木)4限)
- ・ TPPと著作権(骨董通り法律事務所 弁護士 岡本 健太郎氏)
 - 第13回 著作権法の概要 (9月2日(金)2限)
 - 第14回 TPP(著作権条項)と著作権法改正案の概要 (9月2日(金)3限)
 - 第15回 TPP及び著作権法改正案後の課題 (9月2日(金)4限)
 - 第16回 レポート指導(高岡法科大学教授 高倉 史人) (9月2日(金)5限)

成績評価方法

レポート課題（70%）、出席・受講態度（30%）で総合的に判断します。

受講上の注意

毎回出席をとります。無断欠席、私語、携帯電話等禁止。

受講生へのアドバイス（指示、要望事項、他の科目とも関連など）

法学関係の授業を受講してください。






オフィス・アワー

講義の終了時。

使用教科書及び参考書

レジメ等の資料を配布予定。

大学コンソーシアム富山 平成28年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成28年度単位互換開講科目「とやま地域学」
実施機関名	富山国際大学
趣旨・目的	富山に関する情報をより広く学ぶため、3分野から開講する。一つは富山の歴史・文化、産業を歴史的な視点から学ぶ。次に富山の自然環境に着目し、水、災害、暮らしなどから富山を知る。これらを踏まえ、富山県のようなデータ分析と富山県知事の政策を聞きながら、年配の方から若者まで活力ある富山の地域づくりについて各自が考え、富山の将来を展望する。
開催日時	平成28年9月5日(月)～9月8日(木)
開催場所	富山県民会館(富山県富山市新総曲輪4-18 4F)
参加人数	学生 65名 【内訳】・富山大学(5名)・富山県立大学(4名)・高岡法科大学(4名) ・富山短期大学(1名)・富山高等専門学校(15名) ・富山国際大学(36名)
事業内容	<p><u>9月5日(月)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 富山県の歴史と文化(万葉時代～中世) ・第2回 富山県の歴史と文化(近世～) ・第3回 富山の近代史ー近代化の始まり(明治時代～昭和時代) (前富山国際大学現代社会学部非常勤講師 米原寛氏) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回 富山の近・現代文学(明治から昭和) (射水市大島絵本館長、富山国際大学子ども育成学部非常勤講師 立野幸雄氏) <div style="text-align: center;">  </div> <p><u>9月6日(火)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回 富山の政策を語る(富山県知事 石井隆一氏) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

- ・第5回 データから見る富山の姿
- ・第7回 富山の政策を考える枠組み
- ・第8回 今後の富山づくり(意見交換含む)
(富山国際大学客員教授 浜松誠二氏)



9月7日(水)

- ・第9回 地質から見る富山の自然①
- ・第10回 地質から見る富山の自然②
(富山大学名誉教授 竹内章氏)



- ・第11回 富山の自然とおいしい水
(黒部市教育委員会生涯学習課 王生透氏)



- ・第12回 富山の自然と食べ物
(ル・ポワソニエ オーナーソムリエール 武田真知子氏)



9月8日(木)

- ・第13～15回 現地研修(講義を踏まえた関連場所)
アサヒ飲料(株)北陸工場、杉沢の沢スギ自然館、生地の清水(湧水地)等
(富山国際大学現代社会学部教授 尾畑納子)



授 業 科 目		教育課程区分・対象学期・単位数・履修年次			職 名	担 当 教 員					
とやま地域学 英文名：Regional Science on Toyama		社会理解基礎科目			教授	尾畑 納子 他					
		対象学期	単位数	履修年次							
		前期	2 単位	1 年							
授 業 の 内 容	< 授業の概要 > 国は地方での雇用拡大など地方創生に向け動き、5月には富山でG7環境会議が開催される。本講義では、3つの分野から富山について学ぶ。一つは富山の歴史・文化、産業を歴史的な視点から学ぶ。次に富山の特徴でもある自然環境に着目し、水、災害、くらしなどから富山の特徴を学ぶ。これらを踏まえ、富山の将来を展望するため、富山県のデータ分析や富山県知事の政策をお聞きしながら、年配の方から若者まで活力ある富山の地域づくりについて各自が考える。 キーワード： ① 富山の歴史文 ② 富山の産業 ③ 富山の水 ④ 水と災害 ⑤ 地方の未来										
	< 到達目標 > 目標1：富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。 目標2：今回は特に「富山の地質」から自然、災害について学び、持続可能な安全な地域づくりを考える。 目標3：政策の専門家の講義、現地研修を通して、富山、北陸地域の活性化について受講を通して考える。										
	該当するディプロマポリシー			1. 「人」としての能力（人間性の向上）							
	キー・コンピテンシー（重視する能力）			教授方法（授業方法）							
	コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ学習	地域フィールドワーク	授業外学習指導・自主活動
			○			○				○	
	< 授業計画 >										
	第1回 オリエンテーション・越中の歴史と文化（万葉時代～中世） 9月5日										
	第2回 越中の歴史と文化（近世～）										
	第3回 富山の近代史－近代化の始まり（明治時代から大正時代）										
第4回 富山の近代～現代（昭和時代）											
第5回 データから見る富山の姿 9月6日											
第6回 富山の政策を語る 講師：石井富山県知事											
第7回 富山の政策について話し合う											
第8回 データから見る富山の姿											
第9回 富山の地形とその特色 9月7日											
第10回 富山の地形と災害（地震）											
第11回 富山の自然が生み出すおいしい水											
第12回 富山の自然から生まれる食文化											
第13回 現地研修 9月8日											
第14回 現地研修											
第15回 現地研修											
第16回 まとめ、レポート提出											
評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修（50%）、レポート（50%）をもって総合的に評価する。										
使用資料	テキスト： 当日テキスト配布（無料）			参考図書： 富山県のHPを参照。 各講師が情報提供を行う。							
授業外学修等	授業前後の学修に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。										
授業外質問方法	授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。 その他に休憩時間などを利用して質問などに応じる。										
	・オフアイス / 曜日時限										

研修予定地：入善杉沢の沢スギ水源の森、アサヒ飲料北陸工場、黒部川電気記念館、魚津埋没林博物館など
→ 上記研修予定地は現時点での予定で、研修地の都合等で変更になる場合あり。

大学コンソーシアム富山 平成 28 年度単位互換開講科目
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 28 年度単位互換開講科目「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学
趣旨・目的	「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、周りの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行う災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	平成 29 年 2 月 20 日（月）から 23 日（木）まで
開催場所	富山大学五福キャンパス 富山市五福 3190
参加人数	学生 65 名 【内訳】・富山大学（55 名） ・富山県立大学（1 名） ・高岡法科大学（8 名） ・富山短期大学（1 名）
事業内容	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2/20（月）</div> <p>第 1 回 災害救援ボランティアと危機管理医学 (富山大学大学院医学薬学研究部教授 奥寺 敬 氏)</p> <p>第 2 回 災害ボランティア活動の基本 (災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏)</p> <p>第 3 回 地形と災害の予測 (神奈川工科大学看護学部講師 橋本 真由美 氏)</p> <p>第 4 回 防災机上訓練：ハザードマップの活用 (神奈川工科大学看護学部講師 橋本 真由美 氏)</p>

2/21 (火)

第5回 被災地での安全衛生とコミュニケーション
(災害救援ボランティア推進委員会委員 宮崎 賢哉 氏)

第6回 災害時のリーダーシップとチームビルディング
(災害救援ボランティア推進委員会委員 宮崎 賢哉 氏)

第7回 トレーニング 倒れている人をどう救うか
(富山大学人間発達科学部教授 布村 忠弘 氏)

第8回 富山県の防災対策
(富山県防災・危機管理課国民保護・地域防災担当課長 大木 英文 氏)

2/22 (水)

第9回 都市における減災対策 (災害のしくみ)
(富山大学人間発達科学部教授 梶座 圭太郎 氏)

第10回 都市における減災対策 (放射能汚染と望まない復興)
(富山大学人間発達科学部教授 梶座 圭太郎 氏)

第11回・第12回 救命救急講習(心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法)
(富山市消防局)

2/23 (木)

第13回 災害時の医療救援活動
(富山大学大学院医学薬学研究部講師 若杉 雅浩 氏)

第14回・第15回 施設見学・災害体験
(富山県広域消防防災センター四季防災館)



講義風景



救命講習



地震体験

授業科目名(英文名) / Course title	災害救援ボランティア論				
担当教員(所属) / Instructor	奥寺 敬(医学部医学科), 若杉 雅浩(医学部医学科)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 教養科目				
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2016年度 / Academic Year 後期 他	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	106604	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3 年 ,4年	単位数 / Credits	2単位
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	奥寺 敬(okudera@med.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>災害救援ボランティア推進委員会は阪神・淡路大震災の教訓を基に、大災害を想定した災害救援ボランティアリーダーの育成・登録活動に当たる民間団体として設立されました。</p> <p>「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、周りの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行います。本カリキュラムでは、この災害救援ボランティアを包括し、富山大学と地域の共同研究の成果を加えた本学独自の科目です。</p> <p>1995年7月17日にライフラインの関係者の那須翔(東京電力会長・当時)、渡辺宏(東京ガス会長・当時)、河野俊二(東京海上火災保険社長・当時)、児島仁(日本電信電話社長・当時)、報道関係者の吉村秀實(日本放送協会解説主幹・当時)、行政経験者の長岡實(日本たばこ産業顧問・当時)教育関係者の澤野裕治(日本法学会理事・当時)らが中心となって会をボランティアの民間任意団体として結成し、委員長に石原信雄(元内閣官房副長官)を選出し事務局を公益財団法人日本法学会内に置きました。会の目的に『大地震等の大規模災害に備えて、災害救援を希望する人たちのための講座を行い、災害救援ボランティアを日常的に教育訓練し、地域防災に貢献していくこと』を掲げ、以後、災害救援ボランティア育成及び地域防災の推進、防災の普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>「災害救援ボランティア論」では、この災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<p>総務省消防庁が示した基準に基づき、災害救援ボランティア推進委員会が推進する認定資格「セーフティリーダー(SL)」及び総務省消防庁の救命講習である、普通救命講習(AED含む)を取得すること。</p>					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
<p>2月20日から23日までの4日間で実施します。</p> <p>講義, 実習, 演習, 学外施設見学</p> <p>第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学(講義)</p> <p>第2回 災害ボランティア活動の基本(講義)</p> <p>第3回 地形と災害の予測(講義)</p> <p>第4回 防災机上訓練: ハザードマップの活用(実習)</p> <p>第5回 被災地での安全衛生とコミュニケーション(講義)</p> <p>第6回 災害時のリーダーシップとチームビルディング(講義)</p> <p>第7回 トレーニング 倒れている人をどう救うか(実習)</p> <p>第8回 富山県の防災対策(講義)</p> <p>第9回 都市における減災対策(災害のしくみ) (講義)</p> <p>第10回 都市における減災対策(放射能汚染と望まない復興) (講義)</p> <p>第11回 普通救命(心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法)(実習)</p> <p>第12回 普通救命(心肺蘇生) (講義)</p> <p>第13回 災害時の医療救援活動 (講義)</p> <p>第14回 災害体験(地震体験、消火体験)(実習)</p> <p>第15回 災害体験(煙体験、暴風雨体験)(実習)</p>					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
<p>事前学修 シラバスの授業計画の項目について、事前に関連文献やインターネット等を利用して自己学修を行う。</p> <p>事後学修 その日の重要なポイントがどこかを、教材・自分のノートで再確認を行い、知識・技能の定着を図る。</p>					
キーワード / Keywords	災害救援, ボランティア, 救命活動, 地域防災, 自主防災				
履修上の注意 / Notices	実習にふさわしい服装で受講すること				
教科書・参考書等 / Textbooks	(予定) 災害・健康危機管理ハンドブック 診断と治療社 ISBN 9784787815316				
成績評価の方法 / Evaluation	講義・実習の参加態度及びレポートによる総合評価				
関連科目 / Related course					
リンク先URL / URL of syllabus or other information					
備考 / Notes					

平成28年度 単位互換科目 履修者数

【コンソーシアム開講科目】

履修者 所属機関 科目名 (実施機関)	富山大学	富山県立大学	高岡法科大学	富山国際大学	富山短期大学	富山福祉短期大学	富山高等専門学校	合計
【前期】 環境政策論 (富山国際大学)	13	1	0	13	0	0	2	29
【前期】押し寄せる『世界』 -TPPでどうなる、どうする- (高岡法科大学)	1	2	8	0	0	0	2	13
【前期】 とやま地域学 (富山国際大学)	5	4	4	36	1	0	15	65
【後期】 災害救援ボランティア論 (富山大学)	55	1	8	0	1	0	0	65
合計	74	8	20	49	2	0	19	172

※履修者数に、実施機関の履修者数を含む。

【各機関提供科目】

履修者 所属機関 科目名 (提供機関)	富山大学	富山県立大学	高岡法科大学	富山国際大学	富山短期大学	富山福祉短期大学	富山高等専門学校	合計
【前期】 観光ビジネス論 (富山国際大学)	0	0	0	0	0	0	1	1
【前期】 社会福祉論A (高岡法科大学)	0	0	0	0	0	0	5	5
合計	0	0	0	0	0	0	6	6

※履修者数に、提供機関の履修者数を含まない。